



登下校 安全確保へ協定

市教委 × 福井署 × 南署

登下校時の児童生徒の安全確保に関する連携協定を結び握手する(右から)吉川教育長、西村福井署長、長谷川福井南署長=22日、福井市役所

福井市教委と福井署、福井南署は22日、登下校時の児童生徒の安全確保に向け、小中学校を含めた不審者情報共有の強化などを盛り込んだ連携協定を結んだ。県内では初めての取り組み。
今年5月に新潟市で女子児童が殺害された事件を受け国がまとめた「登下校防犯プラン」を基に▽通学路の合同点検の徹底▽おおよび環境の整備・改善▽不審者情報等の共有と迅速な対応▽多様な担い手による見守りの活性化

化」などの5項目で連携する。具体的には、小中学校、市教委、警察でそれぞれ不審者情報の連絡担当者を決め緊急時には24時間体制で連絡を取り合う。また市教委と警察署などによる「福井市通学路安全推進会議」が、以前から行っている交通安全全面の点検に加え、防犯・防災面の点検も実施し、危険箇所の情報を共有するなどとしている。同市役所で調印式が行われ、吉川雄二教育長は「より迅速な防犯対策が取れるよう、的確な情報共有を図っていきたい」とあいさつ。両署を代表して西村嘉之福井署長が「声かけ事業は登下校の時間帯に集中しており、対策強化は喫緊の課題。子どもが元気に学校に通学し、保護者の方も安心して子どもを送り出せる社会になることを期待する」と述べた。(守長奈生佳)